



第7回 九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム

令和元年 12月14日（土曜日）

JR博多シティ会議室 10階 A+B大会議室

主催：一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会

共催：公益社団法人土木学会西部支部

土木学会 CPD プログラム（JSCE19-1535/5.5単位）



プログラム

09:40-10:00 受付

10:00-10:05 開会挨拶

永瀬英生（KABSE 会長・九州工業大学）

10:05-11:20 第1セッション 座長：畠山 繁忠（株富士ピー・エス）

A-1 複数塗膜傷間の滞水環境における鋼材腐食の電気化学機構に関する基礎的研究

九州大学大学院 樋口 亮

A-2 過大な偏心荷重が作用する鋼アーチ橋における安全性の検討

福岡大学大学院 松隈 優太

A-3 水-土混相流解析手法による洗掘解析における乱流抗力モデルの見直し

九州大学大学院 藤井 孟大

A-4 ジオポリマーの ASR 抵抗性に関する基礎研究

九州工業大学大学院 新貝 勝信

A-5 超高強度合成繊維補強コンクリートを用いた RC 梁の疲労耐久性に関する研究

九州大学大学院 原 紘一郎

12:30-13:30 特別講義「地盤耐震工学における私的研究観について」

永瀬英生（KABSE 会長・九州工業大学）

13:45—15:00 第2セッション 座長：山口 浩平（長崎大学大学院）

- B-1 浮きまくらぎの力学的影響に関する解析的検討
九州大学大学院 張 順智
- B-2 タンDEM正方形角柱の空力振動に及ぼす模型支持条件の影響
九州工業大学大学院 井上 遥奈
- B-3 腐食環境の相違が大気犠牲陽極防食の効果に及ぼす影響に関する基礎的研究
九州大学大学院 飯尾 翔磨
- B-4 非弾性地震応答計算における Newmark β 法を用いた数値積分の精度について
佐賀大学大学院 吉崎 暢晃
- B-5 鉄筋腐食起因のひび割れによる RC 構造物のかぶり剥落に関する基礎的研究
九州大学大学院 畠中 玲

15:15—16:15 第3セッション 座長：中原 晋（株安部日鋼工業）

- C-1 環境要素が材料特性の異なるコンクリートに及ぼす影響評価
宮崎大学大学院 中島 直輝
- C-2 道路橋鋼製フィンガープレートのルート部の腐食表面性状に関する基礎的研究
九州大学大学院 XU WEIKUN
- C-3 デジタル画像相関法を用いた鉄筋埋設式 PCM 巻立て補強された RC 部材のひび割れ性状
長崎大学大学院 田村 拓登
- C-4 SPH 粒子法による建物内部・地下構造物への浸水を含む津波遡上解析
九州大学大学院 槇野 泰河

16:30—17:30 第4セッション 座長：森田千尋（宮崎大学）

- D-1 ねじれ自己励起型渦励振における後縁二次渦の役割
九州工業大学大学院 今村 光志
- D-2 A Fundamental Study on the Application of Convolutional Neuron Network
for Hammering Sound Test Data of the Deteriorated Concrete
九州大学大学院 Yin Yifan
- D-3 3D 計測データを用いた図面化および部材寸法の推定に関する一考察
長崎大学大学院 鈴木 航作
- D-4 塩害環境下に曝露したフライアッシュベースのジオポリマーコンクリートの性状
九州大学大学院 榮徳 雄斗

17:30—17:50 KABSE シンポジウム論文賞・優秀発表賞授賞式および閉会挨拶
貝沼 重信（KABSE 運営委員長・九州大学大学院）